

質問者



松本 一二美 議員

Q

芝生化で 緑輝く町に!

A

校庭・園庭の部分的な芝生化を実施します

問

校庭・園庭の芝生化は、子供たちが裸足で思いっきり走り回れる環境の提供になる。芝生化を低コストで実現できる鳥取方式は、約100分の1のコストで施工が可能。

維持管理も簡単で維持費も安い。ポット苗移植法。除草剤や農薬を一切使わず、環境と利用者に優しい。

当町も保育所・幼稚園・小学校・中学校・公園などできることから、芝生化実施を提案するが考えは。

答

永見教育長

学校の芝生化は、子どもたちの遊びを中心とした部分的な実施に向け検討します。

公立の保育所7カ所は、園庭の状況とか遊具の配置の状況を見て、例えば通路とか、遊具の周辺だけでも実施できるようにしたら検討します。

問

保育所の土曜日延長保育を

勤労と育児の両立の支援及び福祉の充実の増進を図る事は責務。

経済状況が厳しい家庭においては、子どもにも影響が出ている。

土曜日の午後勤務せざるを得ないため保育が難しい家庭に対して、安心安全な環境での保育支援から、土曜日の保育時間延長の考えは。

答

実施も含めて検討します

高橋保健福祉部長

土曜日の午後の保育を要望される声もあります。

実施するには、新たに臨時保育士の確保も必要となり、保育士数も考慮しながら検討します。

全体的な幼保統廃合・民営化を検討していますので、そうした中で間違いないか実施できると思います。

問

ヒブワクチンの定期接種に助成を

ヒブワクチンは細菌性髄膜炎を引き起こすインフルエンザ菌b型(ヒブ)から乳幼児の命を守るためのもの。

特に抵抗力を持たない5歳児未満の乳幼児が命の危険にさらされている。

日本では年間1千人の子どもたちが発症。内約5%が亡くなり、4人に一人は「知的障がい」や「聴覚障がい」などの後遺症で苦しんでいる

現在、世界では100カ国以上でヒブワクチンが使用され、90カ国以上で定期予防接種され効果をあげている。

日本でも接種可能になったが、費用は一回約8千円、合計4回約3万円と高価。

未来ある子どもたちへの健康支援から公費助成を要望するが考えは。

答

動向を見ながら検討します

門田健康課長

現段階では、他の任意予防接種との均衡がとれないこと、またヒブワクチンの安定した供給量確保が見込めないことから、このヒブワクチン接種に対して、直ちに補助を始めるということはありません。

今後安定的な供給量が確保され、また国、県等の補助制度や予防接種制度の動向なども見ながら検討します。

●その他の質問

\*子宮頸がん乳がんの無料クーポン券発行と取り扱いの計画は。  
\*放課後児童クラブの長期休暇中の時間延長の取り組みは。

